

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市北部身体障害者福祉会館及びわーくす高津	評価対象年度	平成28年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人 育桜福祉会 ・代表者名 理事長 星 栄 ・住所 中原区西加瀬1-3	評価者	障害福祉課長 障害計画課長
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害福祉課・障害計画課

2. 事業実績

利用実績	<p>【北身館】 〔講習会・ボランティア育成事業〕 ・手話入門(昼):全7回 21名    ・手話入門(夜):全7回 17名    ・入門点字:全5回 12名 ・拡大写本入門:全6回 16名    ・朗読入門:全5回 32名    ・視覚障害者への理解:全2回 13名 ・盲導犬デモンストレーション(新規) 全1回 15名 〔作業室〕 ・在籍数:生活介護 22名(定員20名) ※平成28年度末現在</p> <p>【わーくす高津】 ・在籍数:就労継続B 32名(定員30名) ※平成28年度末現在</p>																																															
収支実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">身障会館・作業室全体 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>収入</td><td>83,298,967</td></tr> <tr><td>  委託料他</td><td>81,389,500</td></tr> <tr><td>  作業収入他</td><td>826,705</td></tr> <tr><td>  その他</td><td>1,082,762</td></tr> <tr><td>支出</td><td>68,735,066</td></tr> <tr><td>  人件費</td><td>51,523,573</td></tr> <tr><td>  事務費</td><td>11,953,044</td></tr> <tr><td>  事業費</td><td>3,701,520</td></tr> <tr><td>  その他</td><td>1,556,929</td></tr> <tr><td>差額</td><td>14,563,901</td></tr> </tbody> </table>	身障会館・作業室全体 (円)		収入	83,298,967	委託料他	81,389,500	作業収入他	826,705	その他	1,082,762	支出	68,735,066	人件費	51,523,573	事務費	11,953,044	事業費	3,701,520	その他	1,556,929	差額	14,563,901	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">わーくす高津 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>収入</td><td>57,473,566</td></tr> <tr><td>  就労支援事業</td><td>4,253,998</td></tr> <tr><td>  自立支援費等</td><td>52,312,766</td></tr> <tr><td>  その他</td><td>906,802</td></tr> <tr><td>支出</td><td>49,175,111</td></tr> <tr><td>  人件費</td><td>34,994,167</td></tr> <tr><td>  事務費</td><td>5,223,628</td></tr> <tr><td>  事業費</td><td>4,231,283</td></tr> <tr><td>  就労支援事業</td><td>4,253,998</td></tr> <tr><td>  その他</td><td>472,035</td></tr> <tr><td>差額</td><td>8,298,455</td></tr> </tbody> </table>	わーくす高津 (円)		収入	57,473,566	就労支援事業	4,253,998	自立支援費等	52,312,766	その他	906,802	支出	49,175,111	人件費	34,994,167	事務費	5,223,628	事業費	4,231,283	就労支援事業	4,253,998	その他	472,035	差額	8,298,455
身障会館・作業室全体 (円)																																																
収入	83,298,967																																															
委託料他	81,389,500																																															
作業収入他	826,705																																															
その他	1,082,762																																															
支出	68,735,066																																															
人件費	51,523,573																																															
事務費	11,953,044																																															
事業費	3,701,520																																															
その他	1,556,929																																															
差額	14,563,901																																															
わーくす高津 (円)																																																
収入	57,473,566																																															
就労支援事業	4,253,998																																															
自立支援費等	52,312,766																																															
その他	906,802																																															
支出	49,175,111																																															
人件費	34,994,167																																															
事務費	5,223,628																																															
事業費	4,231,283																																															
就労支援事業	4,253,998																																															
その他	472,035																																															
差額	8,298,455																																															
サービス向上の取組	<p>・会館の地域交流事業として北身館フェスティバルを開催し、近隣商店の参加や近隣中学校に職場体験学習を行うなど、地域住民との交流を通じて、障害者福祉の理解・啓発に寄与している。また新規講習会として「盲導犬デモンストレーション」を実施するなど、講習会のあり方を工夫して展開している。</p> <p>・わーくすでは、就労した方への定着支援として、個々の特性等を企業へ伝え、またジョブコーチングや定期面談等を実施するため職場訪問を継続している。</p>																																															

3. 評価 (評価段階:5~1,標準:3,加点割合:5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%)

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
<p>(評価の理由)</p> <p>・会館では、利用団体の活動内容の情報発信のあり方、積極的な周知により、ボランティアサークルに新規メンバーが加わるなど、ボランティア団体育成に寄与している。</p> <p>・作業室では、利用者及び家族の高齢化に伴う対応として、専門機関の評価を行い、ケース会議にて支援の方向性を検討し、身体機能を維持し生活の質の向上に取り組むなど、きめ細やかな支援を行っている。また、職員にも問題に対応した研修を受講し、支援に活かしている。</p> <p>・わーくすでは、利用者が抱えている問題解決のため、「生活学習会」として、外部講師を招くなど、テーマに沿って情報提供を行った。</p>					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	4	4
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
<p>(評価の理由)</p> <p>・概ね良好な収支状況である。会計処理についても適正に行われている。</p> <p>・年2回の監事監査会の開催、年3回の公認会計士による自主監査を実施し、第三者によるチェック体制が整えられている。</p>					

サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取り組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取り組みがなされているか			
	利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	4	4
		利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情、要望について、各部屋に意見箱を設置していること、口頭の場合では、記録を取り、対応、報告を行い、また、苦情解決第三者委員を活用するなど、サービスの質の向上に取り組んでいる。その他、利用者満足度調査等の活用により利用者からの意見・要望を広く受け止め、集計結果については、会館入口等に掲示、公表し、業務の改善につなげている。</li> <li>・作業室では、年2回アセスメントを行っており、利用者が主体性をもって取り組めるものとなるよう、配慮をして、個別支援計画を作成し、サービス提供の向上に取り組んでいる。</li> <li>・栄養管理、衛生管理について、専門職の助言を受けながら、利用者の嚥下状態に合わせて、食形態を対応するとともに、食事に対する配慮を検討、調整し、適切なサービス提供を行っている</li> </ul>					
組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	3	3
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	4	4
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3	
(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> <li>・内部研修によって社会福祉従事者として必要なスキルを習得するとともに、積極的に外部研修に参加し、受講者が研修終了後、職員間で情報共有を図っている。</li> <li>・個人情報保護を含めた各種諸規定を整備し、毎週1回読み合わせを行っている。また、行動規範徹底のため、法人及び事業所にて研修を行っている。</li> <li>・「ヒヤリハット・事故発生・事後対応マニュアル」、「危機対応マニュアル」を整備し、職員間で共有している。また、利用者を含めた防災訓練、不審者対応を想定した防犯訓練を行っている。</li> </ul>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	4	4
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	4	4
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
	(評価の理由) <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設設備の保守管理を適切に行うとともに、法人負担により、利用者から要望のあった和式から洋式トイレへの改修工事を男女ともにやっている。</li> <li>・不審者対策を検討し、防犯カメラ及び警備員の非常呼び出しボタンの設置を行っている。</li> </ul>				

#### 4. 総合評価

評価点合計	73	評価ランク	B
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A→E/標準:C/A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満  
A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

・特別支援学校の卒業生の受け入れや、各養護学校からの夏休み1日体験受け入れ、地域の障害者実習生の受け入れなど、地域ニーズに対応した、きめ細やかな支援については評価できる。  
・自主製品の販売会に積極的に参加し、販売を通じた地域の方との交流や、販売増による工賃向上を目指し、新商品を用意するなど、積極的な作業支援及び新規作業時の単価設定等、適切な生産管理を行うなど、作業効率の改善に取り組んでいる点は評価できる。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

・来年度以降も引き続き、各事業において質の高いサービスを提供し、障害者の自立と社会参加の促進が実現されるように取り組んでいくこと。